

令和4年度

事業報告書

公益財団法人北九州市芸術文化振興財団

令和4年度事業実績

《 総 括 》

本財団は、市民の芸術文化活動の振興に関する事業を行うと共に、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保護等を行い、文化の薫るまちづくりと市民の豊かな芸術文化の創造に寄与することを目的としている。

令和4年度も、引き続き北九州市より指定管理者の指定（期間：平成31年4月1日から令和6年3月31日）を受け、北九州市の文化拠点「北九州芸術劇場」、全国的にも優れた音響効果を誇る音楽専用ホール「響ホール」、市民の芸術文化活動支援施設「大手町練習場」の3つの芸術文化施設等の管理運営を行っている。また、これらの施設を活用し市民が優れた芸術文化に接する機会や市民の文化活動の場を提供する等、市域の芸術文化活動の振興に取り組んでいる。

まず、舞台芸術の振興では、「北九州芸術劇場」を中心に「創る」「育つ」「観る」「支える」をコンセプトに、オリジナルの舞台芸術作品の制作・上演による全国への発信、舞台芸術の手法を使った人材育成や教育普及事業の実施、芸術性あふれる優れた公演を市民に幅広く提供するなど多様な事業を行った。

令和4年度は、平成24年度から開始し11年目となる事業で、北九州市と東京で本公演を行った「君といつまでも～Re:北九州の記憶～」、北九州で世界初演を迎えた「山海塾『TOTEM 真空と高み』」、令和元年度の公演延期から3年後の実施となった「モノレール公演『きみをさがして』」等の創造事業4件、劇場開館より継続している小・中・特別支援学校の生徒を対象とする学校アウトリーチ「キタQアーティストふれあいプログラム」、地域で活動する多様な領域の団体・機関などとの協働事業「ひとまち+アーツ協働事業」、小学生を対象とした「子どもの劇場体験2022～職場体験編」等の学芸事業8件、北九州市出身松尾スズキ作・演出の「命、ギガ長スW（ダブル）」、三重県文化会館・長久手市文化の家と連携した、東京デスロック「再生」、マームとジブシー「c o c o o n」、マギー・マラン「M a y B」、KERA・MAP「しびれ雲」等バラエティに富んだ公演事業11件、関係団体との提携で様々なジャンルを公演する提携・協力事業10件を実施した。（上記以外に計画していた公演事業1件が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演中止）

次に、音楽文化の振興では「響ホール」を中心に「創る」「育つ」「聴く」「支える」「つながる」をコンセプトとし、音楽専用ホールとしての特性を生かした質の高い音楽鑑賞の機会の提供、音楽の手法を用いた人材育成・教育普及事業の実施及び地域の音楽文化の担い手の育成・継承、オリジナルコンサートの制作・公演を行うなど多様な事業を行った。

令和4年度は2021年ショパン国際コンクールに入賞したアーティストなどによる「響ホールリサイタルシリーズ」と銘打ったコンサートや、市民センター・小学校等を訪問する地域訪問コンサート、ワンコインコンサート等を実施し、響ホールの認知度向上を図るとともに新たな観客層へのアプローチを行った。育成事業としては、情操豊かな子どもたちの育成のための「北九州市少年少女合唱団」と「北九州市ジュニアオーケストラ」の運営等を行った。また、コロナ禍で中止が続いていた「レディースコーラスフェスティバル」を4年ぶりに開催した。

2022北九州国際音楽祭では、音楽を通じて人々の気持ちが繋がって行くことを願い、「アンサンブルで行こう！」をキャッチコピーに掲げ、様々な編成や組み合わせで工夫を凝らした公演を実施した。特に、本市出身で一躍トップ・シーンに躍り出たピアニストの谷昂登と本市出身のNHK交響楽団コンサートマスターの篠崎史紀ほか、巨匠たちとのピアノ五重奏公演は、市内外に大きな反響を呼んだ。また、2年ぶりに海外オーケストラを招聘できたことは明るいニュースとなった。

情報提供事業としては、芸術文化情報センターの運営や文化情報誌「CulCul・かるかる」、公演情報誌「情報誌Q」を刊行し、市内の芸術文化活動の周知及び公演情報の提供を行った。

また、地域文化の情報提供として、市民が気軽に文化芸術に触れる機会のさらなる創出を図るため、新たに北九州市芸術文化情報サイト「かるぼー」の制作・開設準備を行った。

その他、埋蔵文化財に関する発掘調査及び保存、調査研究や報告書刊行の事業と埋蔵文化財センターの維持管理等を北九州市などから受託しており、令和4年度の発掘調査等については、発掘8件・整理16件、合計24件の事業を実施した。

《 I 文化創造事業の実施 》

1 舞台芸術の振興

北九州市の舞台芸術の拠点施設である北九州芸術劇場において、「創る（創造事業）」「育つ（学芸事業）」「観る（公演事業）」「支える（支援事業）」をコンセプトに、市民の多様な公演ニーズに対応した事業を行った。

（1）創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を制作し、公演を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
北九州芸術劇場 クリエイション・シリーズ 第2弾	[取材・調査] 北九州市内各所 4月 [ワークショップ] 北九州芸術劇場小劇場ほか 9月17日(土) 11月26日(土)	劇場とアーティストが2年間タグを組むクリエイション・シリーズ第2弾。1年目に地域の人々や表現者と交流などを行いながら『地域』を知り、2年目に劇場オリジナル作品を創作、上演する。クリエイションパートナーには、過去創造事業でタグを組んだサンプル 松井周を迎える。1年目となる令和4年度は、作品創造に向けた取材・調査のほか、地域の表現者を対象としたワークショップや講座を実施。 【クリエイションパートナー】 松井周(サンプル)	[ワークショップ] 69
モノレール公演 「きみをさがして」	北九州モノレール内 9月2日(金)～3日(土) 2公演	市内の交通機関と連携し、宮沢賢治『銀河鉄道の夜』を原作にチェロやキーボードの生演奏を加え、「モノレール」×「演劇」×「音楽」を融合させた北九州市ならではの作品を創作し、日常生活の一部であり市民の足として親しまれている北九州モノレール内で上演。 (令和元年度事業の延期実施) 【作・演出】柴幸男	[公演] 136
北九州芸術劇場 +市民共同創作劇 「君といつまでも～ Re:北九州の記憶 ～」	[取材・調査] 4月～ [戯曲講座] 北九州市立八幡図書館 11月 6日(日) 20日(日) 27日(日) 12月 4日(日) [公演] 北九州芸術劇場小劇場 2月23日(木・祝) ～26日(日) 5公演 (うち1公演では学校鑑賞も実施) 東京芸術劇場シアターイースト 3月3日(金)～5日(日) 3公演	平成24年度からはじまり、11年目を迎えた事業。北九州地域に暮らす人の歴史(記憶)を「北九州の歴史」として振り返り、未来へ継承する。令和4年度は、これまで創造・蓄積してきた戯曲をモチーフにひとつの作品に作り上げ、北九州・東京で上演。関連企画として、市立図書館と連携した劇作家主体の企画を実施。劇作家及び演出家を育成するとともに、子どもから高齢者まで多くの市民へ地元・北九州に生きる人々の生活や時代といった歴史の継承、芸術文化の浸透を図り、地域・国内へ発信。 【脚本・構成・演出】 内藤裕敬(南河内万歳一座)	[戯曲講座] 39 [公演] 903

	[関連企画] 八幡図書館文化講演会 「忘れじの花～少女歌劇 団の話@北九州」 響ホール 9月4日(日)		[関連企画] 132
北九州芸術劇場×山海塾 共同プロデュース 山海塾「TOTEM 真空と高み」世界初演	北九州芸術劇場中劇場 3月18日(土) ～19日(日) 2公演	我が国の最高水準の身体性芸術、かつ総合舞台芸術としても高いクオリティを誇る舞踏カンパニー・山海塾。「時のなかの時ーとき」、「降りくるものなかでーとばり」、「二つの流れーから・み」、「歴史いぜんの記憶ーうむすな」、「海の賑わい 陸(オカ)の静寂ーめぐり」、「ARCー薄明・薄暮」に続き7作目となる共同プロデュースにより新作を創作。北九州芸術劇場でワールドプレミア(世界初演)を迎えた。 【演出・振付・デザイン】天児牛大	623

(2) 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
ひとまち+アーツ協働事業	[YELL 芸術体験プログラム] 北九州芸術劇場稽古場 8月17日(水) 9月7日(水) 14日(水) 10月5日(水) 19日(水) 28日(金)	芸術分野以外の施設や団体と協働し、長期的なビジョンを互いに共有しながら、アーティストや舞台芸術の持つ想像力・創造性を活かして地域の問題解決を目指し、人と街の新たな魅力を引き出す。令和4年度は、外国人留学生や就労支援施設の若者世代を対象とした取組みを行った。	[YELL] 16
	[北九州YMCA 学院 田村一行舞踊ワークショップ] 北九州芸術劇場稽古場・セミナールーム 8月6日(土) 9月10日(土) 10月26日(水) 北九州YMCA 学院 11月2日(水) ～3日(木・祝)		[YMCA] 9
		※6月7日(火) 聖小崎ホームでのセレノグラフィカワークショップを中止	

<p>高校生〔的〕シアター</p>	<p>北九州芸術劇場創造工房ほか [戯曲講座] 6月11日(土) 18日(土) 7月9日(土) 23日(土) [演劇創作体験講習] 8月8日(月) ~10日(水) [テクニカル体験講習(モギテク)] 8月20日(土) ~21日(日) [ワークショップ] 1月8日(日) ~9日(月・祝) [チケット優待] 通年</p>	<p>北九州地域の高校生に演劇を体験(ワークショップ・観賞)してもらい、未来の演劇人や観客の創出、さらには市内高校演劇部のレベルアップを図る事業。戯曲講座、演劇創作、体験講習、テクニカル体験講習(モギテク)、ワークショップ、チケット優待等を実施。</p>	<p>[戯曲講座] 6 [創作体験講習] 44 [モギテク] 14 [ワークショップ] 11</p>
<p>キタQアーティストふれあいプログラム</p>	<p>【講師】太めパフォーマンス 井堀小学校 5月26日(木) 南小倉小学校 6月15日(水) 合馬小学校 9月13日(火) 【講師】セレノグラフィカ 香月小学校(特別支援学級) 10月6日(木) ~7日(金) 八幡西特別支援学校 11月7日(月) ~8日(火) 門司総合特別支援学校 11月9日(水) ・11日(金) 【講師】守田慎之介 牧山小学校 10月25日(火) ~26日(水) 到津小学校 10月31日(月) ~11月1日(火) 【講師】松岡大 高須中学校 12月7日(水) ~8日(木) 大谷小学校 12月13日(火) ~14日(水) 高槻小学校 1月17日(火) ~18日(水)</p>	<p>第一線で活躍するアーティストによる小・中学校、特別支援学校等へのアウトリーチ。未来を担う子どもたちがアーティストとふれあう機会を作ることで、創造力や表現力を育み、創造性や個性を伸ばす手助けとなることを目指し実施。 【講師】 太めパフォーマンス(乗松薫・鉄田えみ/ダンスカンパニー) セレノグラフィカ(隈地菜歩・阿比留修一/ダンスカンパニー) 守田慎之介(劇作家、演出家) 松岡大(舞踏家) 有門正太郎(俳優、演出家)</p>	<p>[太めパフォーマンス] 150 [セレノグラフィカ] 57 [守田慎之介] 95 [松岡大] 53</p>

	<p>【講師】有門正太郎 子どもの村小・中学校 2月8日(水) ～9日(木) 二島小学校 1月30日(月) ～31日(火) 小森江西小学校 2月1日(水) ～2日(木)</p>		[有門正太郎] 98
人×劇場 キタキューブ	<p>[ノゾエ征爾演劇ワークショップ] 北九州芸術劇場小劇場 9月26日(月) ～27日(火) [島津保武ダンスワークショップ] 北九州芸術劇場稽古場 10月29日(土) ～30日(日)</p>	年齢、性別、国籍を問わず、舞台芸術の力を通して、北九州芸術劇場でしか体験できないプログラムを実施する事業。様々な対象をターゲットとし、演劇・ダンスのワークショップや講座・研修などニーズや時代に応じた多角的な企画を展開する。令和4年度はシニア向け演劇ワークショップ、ダンサー向けワークショップを実施。	[ノゾエ征爾] 19 [島津保武] 22
地域のアートレパトリー創造事業	<p>[財ダンス] 【講師・振付】中村蓉 [ダンスインリーチ] 北九州芸術劇場小劇場 8月23日(火) ～24日(水) [ダンス振付ワークショップ] 1月26日(木) [そらダン] 北九州芸術劇場稽古場 8月7日(日)</p>	劇場と北九州市を拠点とする企業・団体が協働して、オリジナル実演芸術作品を製作し対外的に発信する事業。令和4年度は、北九州芸術劇場20周年に当たる令和5年度に向け、職員インリーチを経て劇場の母体である公益財団法人北九州市芸術文化振興財団のオリジナルダンス「財ダンス」を創作し、振付ワークショップを実施。また、平成26年度に航空会社スタッフライヤーと創作した「そらダン」をスタッフライヤー社員がわっしょい百万夏まつりで披露した。	財ダンス [インリーチ] 33 [ワークショップ] 32 そらダン 56
子どもの劇場体験 2022 ～職場体験編	北九州芸術劇場小劇場・創造工房・稽古場 12月24日(土) ～28日(水)	作品創りを行う当劇場が持つ想像力や創造性を活かし、テクニカルスタッフを中心とした「職業体験」プログラム。学校では体験することが出来ない劇場ならではの様々な体験を通し、劇場や芸術文化に親しみを持ってもらうことを目的に小学生を対象に実施。	18
創造支援事業 演カツ!!2022	北九州芸術劇場創造工房 [どんどはれ] 6月、10月、11月 [マルレーベル] 7月～9月 [太めパフォーマンス] 9月、12月 [オトリヨセ企画] 1月	地域舞台人の新たな表現活動への取組みや様々な知識・ノウハウの獲得をサポートするため、創造工房内稽古場の活用した地域の表現者のための創造環境支援を行った。	[どんどはれ] 25 [マルレーベル] 4 [太めパフォーマンス] 2 [オトリヨセ企画] 3

<p>市民・劇場文化サポーター育成事業</p>	<p>北九州芸術劇場創造工房ほか 5月～3月 全7回</p>	<p>劇場文化サポーターを“劇場文化を応援する人たち”と位置づけ、市民がさまざまに劇場と関わりを結び、その活動がサポーターの生きがいや誇りに繋がること、さらに劇場や劇場文化への愛着を育み、その輪を身近な人たちに広げることを目指して実施。 ①劇場支援活動（情報発信、事業サポート等） ②劇場・舞台芸術全般に関する講座の実施 ③劇場事業に関する勉強会等の実施（定期ミーティング等）</p>	<p>22</p>
-------------------------	--	--	-----------

(3) 公演事業

市民に、演劇やダンスを中心に多彩で良質な舞台芸術を提供した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
<p>東京成人演劇部 vol.2 「命、ギガ長スW (ダブル)」</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 4月15日(金) ～17日(日) 4公演</p>	<p>大人計画主宰の松尾スズキが2019年に始動した“部活”こと「東京成人演劇部」。北九州をはじめ全国5都市の上演で好評を博し、同年に第71回読売文学賞(戯曲・シナリオ賞)を受賞した安藤玉恵との二人芝居による旗揚げ公演「命、ギガ長ス」をダブルキャストで再演。 【作・演出】松尾スズキ 【出演】 [ギガ組] 宮藤官九郎、安藤玉恵 [長ス組] 三宅弘城、ともさかりえ</p>	<p>1,381</p>
<p>北九州芸術劇場 ×三重県文化会館 ×長久手市文化の家 東京デスロック 「再生」</p>	<p>北九州芸術劇場小劇場 7月9日(土) ～10日(日) 4公演 [地域交流プログラム] 井筒屋社員コミュニケーションワークショップ 井筒屋パステルホール 10月20日(木)</p>	<p>2006年に初演、30分の物語を3回繰り返す特異な構造で演劇界の常識を覆した東京デスロック「再生」。様々なバージョンで日本全国、そして韓国ソウルでも上演され話題を呼んだ作品が北九州初上演。今回は、東京デスロックによる劇団バージョンに加え、2週間の滞在中に地域の演劇人と共に制作する北九州バージョンを同時上演。また地域交流プログラムとして地元企業でのワークショップも実施。 【作・演出】多田淳之介</p>	<p>[公演] 312 [ワークショップ] 13</p>

<p>「劇トツ×20分」 2022</p>	<p>北九州芸術劇場小劇場 7月17日(日) 1公演</p>	<p>九州各地で活躍する演劇人が集まる場として、平成24年度から実施。地域の演劇人の人材育成やムーブメント創出を目的とする。令和4年度は「劇トツ×20分」2021の優勝劇団(万能グローブ ガラパゴスダイナモス)ほか、公募による5劇団が出演。短編の演劇作品(20分以内、登場人物3人まで)を連続上演し、審査員と観客投票により優勝はPUYUYとなった。</p>	<p>121</p>
<p>大人も一緒に子どもたちの劇場シリーズ 2022—海外編 「0de to Life～幸せなおじいとおばあ～」</p>	<p>北九州芸術劇場小劇場 7月31日(日) 2公演</p>	<p>国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわと連携して、小さな子どもから大人まで楽しめる世界の選りすぐり作品を上演。</p>	<p>143</p>
<p>「導かれるように間違えよう」</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 7月31日(日) 1公演</p>	<p>2022年4月に彩の国さいたま芸術劇場芸術監督に就任する近藤良平と、劇団サンプル主催の松井周がタッグを組んだ新作公演。ダンスと演劇の特性を活かした、独創性に富む作品を上演。 【作】松井周 【演出・振付】近藤良平 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため公演中止</p>	<p>中止</p>
<p>マームとジプシー 「c o c o o n」</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 8月14日(日) 1公演</p>	<p>人気漫画家・今日マチ子が沖縄戦に動員された少女たちから着想を得て創作した同名作品を原作に、演劇作家・藤田貴大が2013年に舞台化した話題作の再演。戦時中の沖縄を舞台に、戦争に動員された少女たちの物語を描く作品を上演。 (令和2年度事業の延期実施) 【原作】今日マチ子「cocoon」 【演出】藤田貴大</p>	<p>331</p>
<p>「気づかいルーシー」</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 8月28日(日) 1公演</p>	<p>北九州出身の松尾スズキの原作絵本を基に、子どもから大人まで楽しめる演劇作品を数多く演出してきたノゾエ征爾が演出。2015年、2017年に東京芸術劇場で上演し評判を得た舞台をオリジナルメンバーで再再演。 【原作】松尾スズキ (千倉書房「気づかいルーシー」) 【脚本・演出】ノゾエ征爾 【出演】岸井ゆきの、栗原類 ほか</p>	<p>447</p>

ミュージカル「夜の女たち」	北九州芸術劇場中劇場 9月24日(土) ～25日(日) 2公演	戦後間もない大阪を舞台に、戦争で夫を亡くし敗戦後の生活苦から娼婦に堕していく女性をシビアに描いた溝口健二郎監督による映画「夜の女たち」を基に、演出家長塚圭史が初のミュージカル作品を上演。 【演出】長塚圭史 【出演】江口のりこ、前田敦子、伊原六花、北村有起哉、大東駿介、北村岳子、前田旺志郎 ほか	1,017
「スカパン」	北九州芸術劇場中劇場 10月23日(日) 1公演	フランスの劇作家モリエールの喜劇「スカパンの悪巧み」を串田和美が独自の解釈と脚色で作りに上げた伝説的名作を上演。 【原作】モリエール『スカパンの悪巧み』 【翻訳】内藤俊人 【潤色・演出・美術】串田和美 【出演】串田和美、小日向文世、大森博史、小日向星一 ほか	268
マギー・マラン 「May B」	北九州芸術劇場中劇場 11月23日(水・祝) 1公演	モーリス・ベジャールのバレエ学校とバレエ団で学び、ソリストとしても活躍、1978年にバニョレ国際振付家コンクールで優勝し、現在もコンテンポラリー・ダンスの旗手として熱狂的な人気を博すフランスの振付家、マギー・マランの代表的作品を上演。 【演出・振付】マギー・マラン 【出演】Company Maguy Marin	364
KERA・MAP 「しびれ雲」	北九州芸術劇場中劇場 12月17日(土) ～18日(日) 3公演	ナイロン100℃主宰のケラリーノ・サンドロヴィッチが、劇団以外の活動の場として2001年に開始したKERA・MAPシリーズ作品を上演。 【作・演出】ケラリーノ・サンドロヴィッチ 【出演】井上芳雄、緒川たまき、ともさかりえ ほか	1,450
二兎社 「歌わせたい男たち」	北九州芸術劇場中劇場 1月29日(日) 1公演	2005年に初演され、朝日舞台芸術賞グランプリ、読売演劇大賞最優秀作品賞などに輝いた、日本を代表する劇作家・演出家 永井愛の話題作を上演。 【作・演出】永井愛 【出演】キムラ緑子、山中 崇、大窪人衛、うらじぬの、相島一之	569

(4) 提携・協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業連携等により、様々なジャンルの事業を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
「劇トツ×20分」 2021優勝公演/ 万能グローブ ガラ パゴスダイナモス 第29回公演「甘い 手」	北九州芸術劇場小劇場 4月23日(土) ～24日(日) 4公演 [関連企画] ワークショップ 北九州芸術劇場稽古場 4月6日(水)	福岡で活躍中の劇団が「劇トツ× 20分」2021での優勝を経て、 小劇場での公演を実施。 【作・演出】川口大樹	[公演] 400 [ワークショップ] 10
ゴジゲン 第18回公演 「かえりにち」	北九州芸術劇場小劇場 5月2日(月) ～4日(水・祝) 4公演	北九州市出身であり、映画監督とし ても活躍する松居大悟率いる劇団 の新作公演。 【作・演出】松居大悟	359
【協力公演】 パルコ・プロデュー ス2022 「セールスマンの 死」	北九州芸術劇場大ホール 5月27日(金) ～29日(日) 3公演	過酷な競争社会、若者の挫折、家庭 の崩壊を描き、トニー賞、ニューヨ ーク劇評家賞、ピューリッツア賞 を受賞した近代演劇の金字塔を上 演。 【作】アーサー・ミラー 【翻訳】広田敦郎 【演出】ショーン・ホームズ 【出演】段田安則、鈴木保奈美、 福士誠治、林遣都 ほか	2,421
大体2mm 10周年記念公演 「水曜日の男」	北九州芸術劇場小劇場 5月27日(金) ～29日(日) 3公演	北九州を拠点に活動する若手演劇 ユニットによる公演を実施。 【作】藤原達郎 【演出】藤本瑞樹	186
to R mansion 「にんぎょひめ」	北九州芸術劇場小劇場 6月25日(土) ～26日(日) 4公演	世界各国の演劇祭やストリートフ ェスティバル、劇場、イベント、学 校文化鑑賞会など、舞台から野外 まで場所や対象年齢に応じて作品 を創作・上演し、国内外で高い評価 を得ているパフォーマンスカンパ ニーによる公演を実施。 【演出・出演】to R mansion 【脚本】目次立樹 【脚本監修】松居大悟 【出演】上ノ空はなび、野崎夏世、 丸本すばじろう、藤田善宏 ほか	508
ブルーエゴナク 10周年記念公演 「バスはどこにも行 かないで」	北九州芸術劇場小劇場 10月7日(金) ～9日(日) 4公演 [関連企画] ワークショップ 北九州芸術劇場稽古場 9月11日(日)	北九州を拠点に、全国へ活動を広 げる若手劇団の公演を実施。 【作・演出】穴迫信一	[公演] 303 [ワークショップ] 15

彩の国 シェイクスピア・シ リーズ 「ヘンリー八世」	北九州芸術劇場大ホール 10月14日(金) ～16日(日) 4公演	1998年のスタート以来、芸術監督蜷川幸雄のもとシェイクスピア全37戯曲の完全上演を目指す彩の国シェイクスピア・シリーズの第35弾を、2代目芸術監督を引継いだ吉田鋼太郎演出で上演。 (令和元年度事業の延期実施) 【作】W. シェイクスピア 【翻訳】松岡和子 【演出】吉田鋼太郎 【出演】阿部寛、吉田鋼太郎、金子大地ほか	4,223
飛ぶ劇場 Vol. 44 「死者そ会ぎ」	北九州芸術劇場小劇場 11月4日(金) ～6日(日) 4公演	北九州を拠点に活動する人気劇団による公演を実施。 【作・演出】泊篤志	400
【協力公演】 月灯りの移動劇場 「Silence」	北九州芸術劇場小劇場 11月25日(金) ～27日(日) 4公演	『東アジア文化都市北九州2020・21』「詩、踊る」の浅井信好が主宰し、世界中から注目を集める【月灯りの移動劇場】が最新作「Silence」で北九州芸術劇場に初登場。 【演出振付】浅井信好 【出演】月灯りの移動劇場	100
「凍える」	北九州芸術劇場中劇場 12月3日(土) ～4日(日) 3公演	2004年「トニー賞」演劇作品賞ノミネートの、珠玉のヒューマンサスペンスを栗山民也の演出により上演。 【作】ブライオニー・レイヴァリー 【翻訳】平川大作 【演出】栗山民也 【出演】坂本昌行、長野里美、鈴木杏	1,519

(5) 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスをを行い、市民の文化活動を支援するほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業を実施した。

事業名	場所・時期・内容等
創造支援事業 演カツ！！2022 ＜再掲＞	(2) 学芸事業 参照
「劇トツ×20分」2022 ＜再掲＞	(3) 公演事業 参照
万能グローブ ガラパゴスダイナモ ス「甘い手」 ＜再掲＞	(4) 提携・協力事業 参照
大体2mm「水曜日の男」 ＜再掲＞	(4) 提携・協力事業 参照

ブルーエゴナク「バスはどこにも行かないで」 ＜再掲＞	(4) 提携・協力事業 参照
飛ぶ劇場「死者そ会ギ」 ＜再掲＞	(4) 提携・協力事業 参照

(6) 地域文化振興事業（受託事業）

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するため、公演事業を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
第52回 北九州市ファミリー 劇場 —角笛シルエット劇 場—	各市民会館（門司・戸畑・若松）、黒崎ひびしんホール、北九州芸術劇場大ホール） 5月16日（月） ～23日（月） 7公演	劇団角笛による子ども向けシルエット劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供。	2,501
人形浄瑠璃「文楽」	戸畑市民会館大ホール 3月5日（日） 2公演	ユネスコ世界無形文化遺産に登録された日本の伝統芸能「文楽」の公演を実施。	682

2 音楽文化の振興

北九州市の音楽文化の中核施設である響ホールにおいて、「創る（創造事業）」「聴く（公演事業）」「育つ（育成事業）」「支える（支援事業）」「つながる（連携事業）」をコンセプトに事業を展開し、市民に優れた音楽文化の提供を行った。

(1) 響ホール事業

ア 創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを制作し、公演を実施した。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数(人)
0才からの音楽会	[本公演] 響ホール 6月19日(日) [地域訪問コンサート] 児童養護施設 双葉学園みのり 6月11日(土)	響ホール室内合奏団と響ホールとの共同企画による公演を実施。子どもも大人も楽しめる室内楽の公演。 ※出演者の新型コロナウイルス感染により本公演中止。	[本公演] 中止 [地域訪問] 51
0才からの親子で楽しむクラシックコンサート	[本公演] 響ホール 2月18日(土) [地域訪問コンサート] ①小倉南特別支援学校 9月8日(木) ②足立小学校 9月9日(金)	クリスマスシーズンに、0歳から親子で楽しめるクラシックコンサートを企画制作した。子どもたちに生演奏の魅力を伝えるため、ピアニストの中川賢一が制作協力。 特別支援学校や小学校への地域訪問コンサートを実施した。	[本公演] 598 [地域訪問] ①46 ②49

イ 響ホール公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
リサイタルシリーズ	[本公演] 響ホール ① 6月25日(土) ② 7月24日(日) ③ 11月27日(日) ④ 1月21日(土) ⑤ 3月11日(土)	国内外で活動する一流アーティストによる2時間のコンサート。 本公演のほか、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、トークイベントや地域訪問コンサートを実施した。	[本公演] ①668 ②272 ③361 ④697 ⑤415
①小林愛実[ピアノ]	[トークイベント] 響ホール ②7月24日(日) (アフタートーク)		[トークイベント] ②150 ※概算 ③40
②辻彩奈[ヴァイオリン]&阪田知樹[ピアノ]	③11月26日(土) (プレトーク)		
③古部賢一[オーボエ]&鈴木大介[ギター]	[地域訪問コンサート] ①香月中学校 6月24日(金)		[地域訪問] 226
④反田恭平[ピアノ]&務川慧悟[ピアノ]			
⑤原田幸一郎(ヴァイオリン)、池田菊衛(ヴァイオリン)、磯村和英(ヴァイオリン)、毛利伯郎(チェロ)、練木繁夫(ピアノ)[ピアノ五重奏]			

<p>ワンコインコンサート</p> <p>①平野花子[ハープ] ②長哲也[ファゴット] ③谷口英治[クラリネット] ④奥井紫麻[ピアノ]</p>	<p>[本公演] 響ホール ① 5月12日(木) ② 8月10日(水) ③ 12月15日(木) ④ 2月28日(火)</p> <p>[地域訪問コンサート] ②高槻・高見市民センター 8月9日(火) ③大里南小学校 12月14日(水) ④湯川小学校 2月27日(月)</p>	<p>平日(昼)の響ホールを活用し、トークを交えた45分間のコンサートを実施。新たな顧客層を開拓し、クラシック音楽の魅力を伝えるとともに、本格的なクラシック音楽を聴くことができる響ホールのPRを行った。また、“より地域に根差し、地元色を打ち出したワンコインコンサート”を目指し、北九州出身の演奏家を起用するなど、地元演奏家の支援及び連携、地域の音楽文化の振興を図った。併せて、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指し、地域訪問コンサートを実施した。</p>	<p>[本公演] ①353 ②485 ③475 ④412</p> <p>[地域訪問] ②83 ③58 ④114</p>
<p>加古隆クァルテット</p>	<p>響ホール 5月29日(日)</p>	<p>国内外で活躍する加古隆らによる室内楽メンバーの公演を音響特性に優れた響ホールで行い、クラシック音楽以外の多彩な音楽の魅力を市内外へ発信した。</p>	<p>594</p>

(参考) 地域訪問コンサート

No.	実施日	開催場所	対象	派遣演奏家	参加人数(人)
1	6/11(土)	双葉学園みのり	入所児童	響ホール 室内合奏団	51
2	6/24(金)	香月中学校	生徒(中1)	小林愛実	110
3	6/24(金)	香月中学校	生徒(中2)	小林愛実	116
4	8/9(火)	高槻市民センター	市民センター利用者	長哲也	53
5	8/9(火)	高見市民センター	市民センター利用者	長哲也	30
6	9/8(木)	小倉南特別支援学校	生徒(高2)	中川賢一	23
7	9/8(木)	小倉南特別支援学校	生徒(高3)	中川賢一	23
8	9/9(金)	足立小学校	児童(小6)	中川賢一	27
9	9/9(金)	足立小学校	児童(小5)	中川賢一	22
10	12/14(水)	大里南小学校	児童(小3)	谷口英治	30

11	12/14(水)	大里南小学校	児童(小3)	谷口英治	28
12	2/27(月)	湯川小学校	児童(小1)	奥井紫麻	55
13	2/27(月)	湯川小学校	児童(小1)	奥井紫麻	59
計					627

ウ 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
北九州市少年少女合唱団 育成事業	[練習] 戸畑市民会館ほか 毎週土曜日14時から [公演] 第48回定期演奏会 戸畑市民会館大ホール 12月18日(日)	合唱団の活動を通じて、団員の合唱技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図った。	定期演奏会 458
北九州市ジュニアオーケストラ育成事業	[練習] 大手町練習場 毎月3回日曜日9時から [公演] ジュニアオーケストラ・フェスティバル 2022in NIIGATA りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 8月19日(金) ～21日(日) →不参加 第39回定期演奏会 北九州芸術劇場大ホール 8月28日(日) 第25回スプリングコンサート 北九州芸術劇場大ホール 令和5年4月2日(日)	オーケストラ活動を通じて、団員の演奏技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図った。	定期演奏会 499 スプリングコンサート 1,094
第46回北九州少年少女合唱祭	戸畑市民会館大ホール 7月3日(日)	市内及び近郊の少年少女合唱団による合唱の祭典を3年ぶりに開催した。	380
中学校合唱講習会	響ホール 7月26日(火) ～27日(水)	北九州市中学校音楽教育研究会との共同主催にて、中学生及び合唱団のための合唱講習会を実施した。 【講師】田中安茂(合唱指揮者)	262

合唱組曲「北九州」演奏会	響ホール 3月5日(日)	ふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会をピアノ伴奏による特別編成で開催した。 【出演】北九州をうたう会、北九州市少年少女合唱団、九州交響楽団、小倉祇園太鼓	428
第43回北九州市レディースコーラスフェスティバル	響ホール 3月18日(土)	市内及び近郊の女声合唱グループが出演する合唱の祭典。感染拡大防止のため中止が続いていたが4年ぶりに開催した。	685 ※午前・午後の部合計
アーツスタッフ養成講座 ①ホスピタリティ・カスタマーサポート研修 ②レセプションリスト養成講座	響ホール ①5月17日(火) ②7月16日(土)～17日(日)	音楽文化の振興を担う人材育成を図る。 ①多様なサポートが必要なお客様への理解と対応方法を学ぶための研修を実施。 ②フロントスタッフの役割を理解し、業務を学ぶ公開講座を開催。	①36 ②69
早期教育プロジェクト 2022 in 北九州	響ホール 1月14日(土)	東京藝術大学音楽学部の講師による公開レッスンを実施。 【講師】 澤 和樹(ヴァイオリン)、 中木健二(チェロ)	36
地域訪問コンサート	市民センター、市内小学校ほか 通年	クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、リサイタルシリーズ、ワンコインコンサート等の出演者による地域訪問コンサートを実施。	627
ハーブ研究会	[練習] 響ホール 月2回(40分/回)	ハーブに興味を持つ市民に対し、ハーブ演奏を学ぶ機会の提供を目的として実施。	191
チェンバロ教室	[練習] 響ホール 月2回(40分/回)	響ホールのチェンバロを市民に広く周知するとともに、チェンバロ演奏を学ぶ機会の提供を目的として実施。	12

エ 支援事業

市民の活動発表の場の提供等を通じて音楽活動を支援し、地域文化の振興を図った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
第46回北九州少年少女合唱祭 <再掲>	ウ 育成事業 参照		380
第43回北九州市レディースコーラスフェスティバル <再掲>	ウ 育成事業 参照		685

響ホールお迎えバス	響ホール 通年	貸館時に、八幡駅発のお迎えバス（9人乗り）を運行し、響ホールへのアクセスの利便性向上を図る。 （主催者一部負担3,000円）	12回/年
-----------	------------	---	-------

オ 連携事業

様々な団体等と交流・連携・協働しながら、音楽を中心とした芸術文化の振興や芸術文化の力を活かしたまちづくりに取り組んだ。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
ひびきつながるプロジェクト	①八幡図書館文化講演会「忘れじの花～少女歌劇団の話@北九州」 響ホール 9月4日（日）	「地域と『つながる』『つくる』『考える』」をキーワードに、これまで八幡地域で実施していた「YAHATA MUSIC PROJECT」を発展させ、区外も含めたプロジェクトを展開した。 ①八幡図書館、北九州芸術劇場との連携企画 ②八幡図書館との連携企画 ③北九州市立大学地域創生学群小林ゼミとの連携企画	①132
	②きらめく音楽と言葉のしらべ 響ホール 10月2日（日）		②169
	③まちの小さな演奏会 in 門司 門司赤煉瓦プレイス 2月12日（日）		③116

(2) 北九州国際音楽祭事業

ア 有料プログラム

35回目の開催となる2022北九州国際音楽祭を55日間にわたって開催した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
夏の特別コンサート 谷昂登[ピアノ] 篠崎史紀[ヴァイオリン] 倉富亮太[ヴァイオリン] 佐々木亮[ヴィオラ] 桑田歩[チェロ]	響ホール 8月14日（日）	北九州市出身の新星・谷昂登 [ピアノ] を迎えたコンサート。日本音楽コンクール第1位受賞記念の意を込めたもので、幼少時より谷を起用してきた本音楽祭ならではのオリジナル企画を実施した。	405
サー・サイモン・ラトル指揮 ロンドン交響楽団 チョ・ソンジン[ピアノ]	北九州ソレイユホール 10月9日（日）	「女王陛下のオーケストラ」と称される英国最高にして世界屈指の実力を誇るオーケストラ。サー・サイモン・ラトルとロンドン響との最後の日本ツアーとなるため、注目度が高い公演となった。ソリストは、2015年ショパン国際ピアノコンクール優勝のチョ・ソンジンを迎えた。	1,184

<p>プラネタリウム・コンサート</p> <p>世界遺産級！音楽と星空と金管低音楽器</p> <p>ワーヘリ</p> <p>外園祥一郎[ユーフォニアム]</p> <p>次田心平[チューバ]</p> <p>松本 望[ピアノ]</p>	<p>スペースLABO(北九州市科学館)</p> <p>10月15日(土)</p>	<p>八幡東区東田地区に開館した「スペースLABO」内のプラネタリウムを会場として実施。最新鋭の投射機によって映し出される星空と金管低音楽器の融合により、プラネタリウムならではの特別な時間を演出することができた。</p>	205
<p>サロン・コンサート</p> <p>安川加壽子生誕100年に寄せてー</p> <p>岡田 奏[ピアノ]</p>	<p>西日本工業倶楽部</p> <p>11月2日(水)</p>	<p>国指定重要文化財である西日本工業倶楽部を会場とする例年人気のコンサート。令和4年度は、北九州及び西日本工業倶楽部にも所縁のピアニスト安川加壽子の功績をたどるピアノコンサートを開催した。</p>	57
<p>マイスター・アールト×ライジングスターオーケストラ</p> <p>コンサートマスター:篠崎史紀</p>	<p>響ホール</p> <p>11月12日(土)</p>	<p>本市出身のNHK交響楽団コンサートマスター篠崎史紀が率いるオリジナルオーケストラ。国内主要オーケストラのトップ奏者からなるマイスター組と、新進気鋭の若手奏者からなるライジング組により構成し実施した。</p>	532
<p>Maro オケのチェロ・セクションによるチェロ七重奏</p> <p>チェロ8</p> <p>北口大輔 篠崎由紀</p> <p>黒川美咲 小嶋幸法</p> <p>笹沼 樹 グレイ理沙</p> <p>佐山裕樹</p>	<p>響ホール</p> <p>11月23日(水・祝)</p>	<p>マイスター・アールト×ライジングスターオーケストラのチェリスト7名によるオリジナル企画。 ※桑田歩氏の出演が叶わなくなったため7名で実施した。</p>	426
<p>庄司紗矢香[ヴァイオリン]</p> <p>ジャンルカ・カシオーリ[フォルテピアノ]</p>	<p>響ホール</p> <p>12月3日(土)</p>	<p>日本を代表する世界的ヴァイオリニスト庄司紗矢香とイタリア人ピアニスト、ジャンルカ・カシオーリによるデュオリサイタル。庄司はガット弦、カシオーリはチェコから搬入したピアノの前身であるフォルテピアノにより演奏した。</p>	550

イ 教育プログラム

未来を担う子どもたちに、音楽の素晴らしさを体験してもらい、情操豊かな人間形成の一助となることを目的に実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
中学生の鑑賞教室A (教育委員会受託事業)	響ホール 10月14日(金)	未来を担う青少年に一流の音楽に触れてもらうため、ワーヘリ(外圍祥一郎・次田心平・松本望)によるレクチャー付きコンサートを実施した。	1,085
中学生の鑑賞教室B (教育委員会受託事業)	響ホール 10月19日(水)	未来を担う青少年に一流の音楽に触れてもらうため、本市出身の演奏家を中心としてレクチャー付きコンサートを実施した。	1,065
小学生の鑑賞教室	八児小学校 11月9日(水)	音楽祭出演者による訪問コンサート。“生の音楽を聴く、体感する”を主眼に実施した。演奏者による楽器や曲目の話を交えながら、分かりやすく楽しめる内容とした。	174
幼稚園の訪問コンサート	戸畑天使園 11月9日(水)	「小学生の鑑賞教室」と同様のメンバーによる訪問コンサート。楽器の話を交えるなど、園児が楽しく聴けるようプログラムを工夫して進行した。	100

ウ 特別プログラム

広く市民が音楽に親しむ機会を提供し、公演事業では十分に行き届かない、普及、啓発、振興、教育などを担うプログラムとして展開した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
ヴァイオリンが上手くなるひみつ	響ホール 8月11日(木・祝)	本市出身のNHK交響楽団コンサートマスター篠崎史紀によるヴァイオリン愛好者を対象としたレッスンをを行い、その様子を一般公開した。	55
まるっとEnjoy! 響ホールで夏休み 《アンサンブルで行こう!》	響ホール 8月13日(土)	3歳以上対象で入場無料。気軽に参加して本格的なクラシック音楽鑑賞などを楽しめるイベント。響ホールと音楽祭を身近に感じてもらうことを目的に開催した。	472
楽しみかた聴きどころ講座	西日本工業大学小倉キャンパス 大会議室303 7月10日(日)	音楽祭ラインナップをもとに、クラシック音楽の楽しみ方や聴きどころを初心者の方にも楽しく、分かりやすく紹介した。	46
プレ・ステージコンサート	響ホール 11月12日(土)	篠崎史紀がMCを務め、開演前にオーケストラメンバーによる金管アンサンブル、弦楽合奏などのプレ・コンサートを行った。	(※開演前開催、出入り自由のため人数不明)
オーケストラレクチャー &リハーサル見学	北九州ソレイユホール 10月9日(日)	海外オーケストラ公演をより深く楽しく鑑賞できるよう、開演前に専門家によるレクチャーとリハーサル見学を行った。	41

スタンプラリー	音楽祭有料プログラム会場 音楽祭期間中 →中止	3つ以上の対象コンサートのスタンプを集めた方に抽選で、出演者のサイン色紙などをプレゼントする。来場者の本音楽祭への愛着心を育て、リピーターの増加を目指す。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	中止
---------	-------------------------------	---	----

エ 支援事業

広く市民が音楽に親しむ機会を提供し、地域の音楽文化の振興に寄与することを目的として、市民企画事業実施に取り組む団体への支援を行った。

事業名		場所・時期等	内容等	入場者数(人)
湧き上がる音楽祭 in 北九州	コンチェルト演奏会	響ホール 8月7日(日)	若い演奏者へコンチェルト演奏の機会を提供し、その才能を広く紹介した。この舞台経験を生かした活動や今後の飛躍が期待される人材の発掘と育成を目指した。	173
	オーケストラ演奏会	戸畑市民会館大ホール ①8月11日(木・祝) ②8月28日(日)	新生オーケストラや、幅広く演奏の機会を求めるオーケストラに、その機会を提供した。	①73 ②350
	独創企画演奏会	北九州芸術劇場小劇場 8月21日(日) ・27日(土)	従来のコンサートスタイルにとられない斬新な企画・制作・公演運営を担う者(団体)を公募し、地元音楽界のプロデュース力を育成。	中止
	室内楽演奏会	戸畑市民会館中ホール ①8月12日(金) ②8月28日(日)	日頃から研鑽に励む優れた地元演奏家に、その実力に相応しいステージを提供して成果を披露してもらい、今後の活動の弾みとなるよう支援した。	①128 ②102
マラソン・コンサート		響ホール 9月11日(日)	音楽祭の主会場である響ホールにてプロ・アマ問わず演奏するイベント。音楽祭をより身近なものに感じてもらうとともに、音楽祭の発展の一助となることを目的として実施した。	218
街かどコンサート		ウェルとばた交流プラザ 9月25日(日)	公募による市民参加コンサート。プロ・アマ問わず出演者を公募し、共にステージを分かち合い、道行く人も含めて音楽の愉しさを共有し理解を深め合う“場”を提供した。	210

オ 協賛事業

本市におけるクラシック音楽文化等を盛り上げることを目的として、9月～12月に北九州市内の施設で実施されるクラシック音楽等のコンサートを対象に、北九州国際音楽祭協賛事業(冠事業)の公募を実施した。

事業名	場所・時期等	入場者数(人)
北九州交響楽団 第128回定期演奏会	北九州芸術劇場 大ホール 10月30日(日)	816

3 芸術文化情報の収集及び提供事業

市内の芸術文化活動の周知や公演情報の提供を図った。

事業名	時期・場所等	内容等	来場者数
北九州芸術劇場&響ホール 「情報誌Q」の発行	年3回発行 7・11・3月10日号 各90,000部	北九州芸術劇場・響ホールで行われる 事業情報をはじめ、地域文化を紹介。	
芸術文化情報センター の運営	北九州芸術劇場 内	チケット&アートスペース『Q-station』 及び市民ギャラリーの運営、公演の情報提 供等を行う。	18,872
北九州芸術劇場&響ホ ール 会員制度 「チケットクラブQ」 「KICPACメンバーズ」	—	市民により親しまれる身近な劇場・音楽堂 を目指し、令和2年4月より会員制度をリ ニューアル。 【特典】公演など劇場・響ホール事業に関 する情報の提供、チケット先行予約、ポイ ント積立てによる割引等。	
文化情報誌 『CulCul・かるかる』 の発行	V 地域文化の情報提供 参照		

4 文化芸術活動活性化支援事業

(1) 支援事業

「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」（北九州市文化振興計画基本理念）の実現に向け、市民の自主的な文化芸術活動や、国際文化交流に関する取組等に対して、経費の一部を助成した。予想を上回る多くの応募を受け、8月から二次募集を実施。

対象事業	交付件数
令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に実施される市民の文化芸術活動	103件

(2) 総合相談窓口事業

市内で活動する、あるいは活動を検討している文化芸術関係者（個人・団体）のさまざまな声に寄り添い、一緒に考え、支援し、解決していくための無料の専門相談窓口の運営を行った。

《 II 芸術文化施設の管理 》

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として運営及び管理を実施した。

施設名	令和4年度		令和3年度		増減比較	
	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員
北九州芸術劇場	1,467	182,048	1,320	136,065	147	45,983
響ホール	4,590	38,550	4,564	30,311	26	8,239
大手町練習場	21,374	48,618	15,256	34,261	6,118	14,357
計	27,431	269,216	21,140	200,637	6,291	68,579

《 Ⅲ 市有施設の維持管理 》

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行った。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、アジア低炭素化センター、駐車場	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(指定管理)

《 Ⅳ 埋蔵文化財の発掘調査研究 》

北九州市及び民間開発業者などからの委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存等を行い文化の振興に寄与した。

1 埋蔵文化財の発掘調査及び整理事業等

No.	事業名	遺跡名	区分	面積㎡	遺跡の概要
1	令和4年度 折尾土地区画整理事業(東側地区)	末里遺跡	発掘	300	集落跡
2	令和4年度 中貫貫弥生が丘1号線道路改築事業	貫・裏ノ谷遺跡第2地点	発掘	900	集落跡
3	令和4年度 且過地区土地区画整理事業	魚町遺跡第3地点(1区)	発掘	290	城下町跡
4	共同住宅建築(山王二丁目)	山王遺跡第3地点	発掘	181	集落跡
5	共同住宅建築(守恒本町一丁目)	守恒遺跡第15地点	発掘	304	集落跡
6	集合住宅建築工事(室町二丁目)	室町遺跡第14地点	発掘	412	城下町跡
7	アパート建築(横代北町三丁目)	稗田川遺跡第5地点	発掘	184	集落跡
8	宅地造成(葛原東五丁目)	葛原(C)遺跡	発掘	990	集落跡
9	金水橋(小倉中間線)道路改築工事	香月遺跡第5地点	整理	0	集落跡
10	小倉城大手門前施設建築事業	小倉城大手ノ勢溜り跡第2地点	整理	0	城跡
11	令和4年度北九州市長野津田土地区画整理事業	屋敷遺跡第2地点、若宮八幡神社裏遺跡	整理	0	集落跡
12	屋敷地区急傾斜地崩壊対策法面工事	黒崎城跡	整理	0	城跡
13	宅地造成(中吉田五丁目)	道屋敷遺跡第4地点	整理	0	集落跡
14	宅地造成(下石田一丁目)	下石田中尾遺跡第2地点	整理	0	集落跡
15	宅地造成(重住二丁目)	重住遺跡第9地点	整理	0	集落跡
16	宅地造成(朽網東三丁目)	加治屋敷遺跡第2地点	整理	0	集落跡
17	(仮称)小倉北区米町1丁目ホテル新築工事	米町遺跡第4地点	整理	0	城下町跡
18	(仮称)室町ビル新築工事	室町遺跡第13地点	整理	0	城下町跡

19	宅地造成（永犬丸二丁目）	宮ノ谷石棺群第2地点		整理	0	集落跡
20	住宅建設（田原三丁目）	畠山遺跡M地点		整理	0	集落跡
21	マンション建設（紅梅一丁目）	紅梅（A）遺跡第6次調査		整理	0	集落跡
22	宅地造成（長行西一丁目）	能行遺跡第5地点		整理	0	集落跡
23	宅地開発（長尾四丁目）	八旗神社古墳群第3地点		整理	0	集落跡
24	住宅建設（紺屋町）	紺屋町遺跡第2地点		整理	0	城下町跡
合 計			発掘 8件	整理 16件	3,561	

2 報告書等の刊行

(1) 埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行

屋敷遺跡第2地点・若宮八幡神社裏遺跡など 全10冊・10事業

(2) 埋蔵文化財に関する調査・研究

年報及び研究紀要の発刊

3 埋蔵文化財に関する普及活動

(1) 遺跡発掘報告会

令和4年度に行った発掘調査のうち話題性の高い2遺跡について市民対象に報告会を実施した。参加者49名。

(2) 埋蔵文化財速報展

最近の調査で出土した文化財を展示する埋蔵文化財速報展を下記のとおり実施した。

第1回	「縄文から弥生へ 農耕開始期の土器と石器 －屋敷遺跡第2地点1・2区の調査から－」
第2回	「オノノムラ－能行遺跡第5地点と石斧作り－」
第3回	「城下町の暮らし－米町遺跡第4地点の調査から－」

(3) 市民向け及び小・中学生向け考古学講座

市民及び小・中学生を対象にした考古学講座の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

(4) 現地説明会

発見した遺構や出土した遺物について学芸員が現地で市民へ解説を行う現地説明会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

4 埋蔵文化財センターの施設管理

埋蔵文化財の発掘調査や出土品その他の考古資料の整理、収蔵及び研究等を行う埋蔵文化財センターの施設管理を受託し、維持管理を行った。年間総入館者数は2,268名。

《 V 地域文化の情報提供 》

1 市民生活・文化の振興事業

北九州市芸術文化情報誌『Cu1Cu1・かるかる』の刊行

演劇・音楽・文芸・美術・漫画・自然史・歴史・文化財など文化芸術・社会教育施設にまつわる記事と市内文化施設での催事案内をフリーペーパー（冊子）として奇数月に年6回、定期刊行した。冊子は劇場や音楽ホール、市民センターなどの文化施設をはじめ、市内ホテル、JR・モノレール各駅など合計約320カ所に設置し無料配布した。

また、各施設での入手が困難な高齢層など、送料負担が可能な希望者には、郵送での配布に対応した。

事業名	時期等	内容等
文化情報誌『Cu1Cu1・かるかる』の刊行	年6回発行 5・7・9・11・1・3 月号 各10,000部	演劇・音楽・文芸・美術・漫画・自然史・歴史・文化財などにまつわる記事と市内文化施設での催事案内を、市民を含む北九州都市圏向けに情報提供。フリーペーパーのほか、財団ホームページではPDF版を公開し情報発信を行った。

2 文化施設の情報提供事業（ホームページ）

『Cu1Cu1・かるかる』に掲載の記事と文化施設の催事情報「イベントカレンダー」を配信するメディアサイト『Cu1Cu1・かるかる』（<http://kitakyushu-culcul.jp/>）の管理を行った。各機関から情報収集を行いコンテンツの充実を図り、タイムリーな情報提供を行った。さらに、SNSも活用し情報発信を行った。

併せて、市民が気軽に文化芸術に触れる機会のさらなる創出を図るため、市の文化芸術に関する情報を集約・発信するポータルサイトの令和5年度開設に向け、他団体の調査や、閲覧しやすく使いやすさを備えたポータルサイト製作、開設準備を行った。

3 書籍の販売等

北九州市からの受託を含め、北九州市に関する各種の書籍を当財団及び市内書店等で販売した。取扱い書籍は次のとおりである。

「北九州市史」（全10巻）、「北九州むかしばなし」、「きたきゅう発掘！考古学ノート」、「続海峡の風」、「火野葦平とゆかりの人びと」、「北九州市の野鳥たち」、「川が変えたまち」、「門司港レトロ物語」、「ひろば北九州バックナンバー」

■ 理事会の開催状況

第1回（令和4年5月31日）

- 議案第1号 令和3年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団の事業報告について
- 議案第2号 令和3年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団の決算について
- 議案第3号 令和4年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団定時評議員会の開催について
- 議案第4号 令和4年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団定時評議員会の議題について

第2回（令和4年10月11日）

- 議案第5号 令和4年度補正予算について
- 議案第6号 公益目的事業の実施にかかる所管行政庁への変更認定申請について

第3回（令和5年3月27日）

- 議案第7号 令和5年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団の事業計画について
- 議案第8号 令和5年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団の予算について
- 議案第9号 公益財団法人北九州市芸術文化振興財団の資産取得資金の設定について
- 議案第10号 令和5年度常勤役員（理事長）報酬額について

附属明細書

事業報告を補足する重要な事項はない。